

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公開番号】特開 2005-195893 (P2005-195893A)  
 【公開日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-028  
 【出願番号】特願 2004-2347 (P2004-2347)  
 【国際特許分類】

**G 0 2 B 7/28 (2006.01)**  
**H 0 4 N 5/232 (2006.01)**  
**G 0 2 B 7/30 (2006.01)**  
**G 0 2 B 7/34 (2006.01)**  
**G 0 3 B 13/36 (2006.01)**

【F I】

G 0 2 B	7/11	N
H 0 4 N	5/232	A
G 0 2 B	7/11	A
G 0 2 B	7/11	C
G 0 3 B	3/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 9 日 (2007.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フォーカスレンズを介して形成される光学像から映像信号を出力する信号処理手段と、  
前記フォーカスレンズを駆動させるレンズ駆動手段と、  
前記信号処理手段から出力された映像信号から焦点信号を検出する第 1 の検出手段と、  
主被写体までの距離に対応する情報を検出する第 2 の検出手段と、  
 前記第 1 および第 2 の検出手段からの検出結果に基づいて焦点調整を行う焦点調整手段と、  
撮影状態および動作状態を判別する状態判別手段と、  
 前記状態判別手段で判別された状態に応じて、前記第 2 の検出手段への電源供給を制御する電源制御手段と  
 を備えることを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記状態判別手段は、前記第 1 の検出手段の検出結果に基づいて動作状態を判別することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記状態判別手段は、操作者が操作する撮影状態を判別することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記電源制御手段は、前記状態判別手段が合焦状態であると判別したときに、前記第 2 の検出手段への電源を遮断することを特徴とする請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記電源制御手段は、前記状態判別手段が合焦確認状態であると判別したときに、前記第２の検出手段への電源供給を遮断することを特徴とする請求項２に記載の撮像装置。

【請求項６】

前記電源制御手段は、前記状態判別手段が焦点信号の極大方向検索状態であると判別したときに、前記第２の検出手段に電源を供給することを特徴とする請求項２に記載の撮像装置。

【請求項７】

前記電源制御手段は、前記状態判別手段が焦点信号の変化が大振幅状態であると判別したときに、前記第２の検出手段に電源を供給することを特徴とする請求項２に記載の撮像装置。

【請求項８】

前記電源制御手段は、前記状態判別手段が主電源投入直後であると判別したときに、前記第２の検出手段に電源を供給することを特徴とする請求項３に記載の撮像装置。

【請求項９】

前記電源制御手段は、前記状態判別手段がフォーカス手動調整から自動調整への切替え直後であると判別したときに、前記第２の検出手段に電源を供給することを特徴とする請求項３に記載の撮像装置。

【請求項１０】

前記電源制御手段は、前記状態判別手段が広角から望遠へ変倍操作状態であると判別したときに、前記第２の検出手段に電源を供給することを特徴とする請求項３に記載の撮像装置。

【請求項１１】

フォーカスレンズを介して形成される光学像から映像信号を出力する信号処理手段と、前記フォーカスレンズを駆動させるレンズ駆動手段と、前記信号処理手段から出力された映像信号から焦点信号を検出する第１の検出手段と、主被写体までの距離に対応する情報を検出する第２の検出手段と、前記第１および第２の検出手段からの検出結果に基づいて焦点調整を行う焦点調整手段とを備えた撮像装置の制御方法であって、

撮影状態および動作状態を判別する状態判別ステップと、

前記状態判別ステップで判別された状態に応じて、前記第２の検出手段への電源供給を制御する電源制御ステップとを備えることを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項１２】

フォーカスレンズを介して形成される光学像から映像信号を出力する信号処理手段と、前記フォーカスレンズを駆動させるレンズ駆動手段と、前記信号処理手段から出力された映像信号から焦点信号を検出する第１の検出手段と、主被写体までの距離に対応する情報を検出する第２の検出手段と、前記第１および第２の検出手段からの検出結果に基づいて焦点調整を行う焦点調整手段とを備えた撮像装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記制御方法は、

撮影状態および動作状態を判別する状態判別ステップと、

前記状態判別ステップで判別された状態に応じて、前記第２の検出手段への電源供給を制御する電源制御ステップとを備えることを特徴とするプログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２８】

上記目的を達成するため、請求項１に記載の撮像装置は、フォーカスレンズを介して形

成される光学像から映像信号を出力する信号処理手段と、前記フォーカスレンズを駆動させるレンズ駆動手段と、前記信号処理手段から出力された映像信号から焦点信号を検出する第1の検出手段と、主被写体までの距離に対応する情報を検出する第2の検出手段と、前記第1および第2の検出手段からの検出結果に基づいて焦点調整を行う焦点調整手段と、撮影状態および動作状態を判別する状態判別手段と、前記状態判別手段で判別された状態に応じて、前記第2の検出手段への電源供給を制御する電源制御手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

上記目的を達成するため、請求項11に記載の撮像装置の制御方法は、フォーカスレンズを介して形成される光学像から映像信号を出力する信号処理手段と、前記フォーカスレンズを駆動させるレンズ駆動手段と、前記信号処理手段から出力された映像信号から焦点信号を検出する第1の検出手段と、主被写体までの距離に対応する情報を検出する第2の検出手段と、前記第1および第2の検出手段からの検出結果に基づいて焦点調整を行う焦点調整手段とを備えた撮像装置の制御方法であって、撮影状態および動作状態を判別する状態判別ステップと、前記状態判別ステップで判別された状態に応じて、前記第2の検出手段への電源供給を制御する電源制御ステップとを備えることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

上記目的を達成するため、請求項12に記載のプログラムは、フォーカスレンズを介して形成される光学像から映像信号を出力する信号処理手段と、前記フォーカスレンズを駆動させるレンズ駆動手段と、前記信号処理手段から出力された映像信号から焦点信号を検出する第1の検出手段と、主被写体までの距離に対応する情報を検出する第2の検出手段と、前記第1および第2の検出手段からの検出結果に基づいて焦点調整を行う焦点調整手段とを備えた撮像装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、前記制御方法は、撮影状態および動作状態を判別する状態判別ステップと、前記状態判別ステップで判別された状態に応じて、前記第2の検出手段への電源供給を制御する電源制御ステップとを備えることを特徴とする。